



古賀市記者懇談会（1月）

令和2年1月24日（金）13時30分～

古賀市役所 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

① 中村哲医師に古賀市名誉市民の称号の授与を検討【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは総務課 割石=092-942-1112）

学生時代を当時の古賀町で過ごされ、ペシヤワール会現地代表/PMS（ピース・ジャパン・メディカルサービス）総院長として活躍された中村哲医師への古賀市名誉市民の称号の授与について準備を進めています。

② 外付日よけ「スタイルシェード」千鳥学童保育所への贈呈式【P2】

【古賀市役所】（問い合わせは環境課 永延=092-942-1127）

株式会社 LIXIL は、気候変動の影響への「適応策」の一環として、千鳥学童保育所へ「スタイルシェード」を寄付し、その贈呈式を行います。シェードの活用で、子どもたちの室内環境の向上と、近年の気温上昇等に対する「適応策」の啓発も行います。

③ 赤星孝・信子展 by アートサポート講座【P3】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは文化課 新本=092-940-2683）

夫婦で、師弟で、ライバル。古賀市を代表する画家である赤星孝氏と信子氏はお互いに影響を与え合いながら、絵に向き合っていました。今回は福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」にコラボして、古賀市が所有している赤星ご夫妻の作品に、絵の展示方法を学んでいる市民の紹介キャプションを添えて展示会を開催します。

◎ 《お知らせ》

① 人権の花運動「ひまわりの種」が英彦山へ【P4】

【青柳小学校】（問い合わせは青柳小学校教頭 緒方=092-942-2331）

人権教育の一環として取り組む「人権の花運動」で飛ばしたひまわりの種が英彦山で登山者に発見され、お手紙が届きました。

② 「糟屋・宗像地区合同公売会」を開催します【P5】

1/16 投げ込み済

【古賀市役所】（問い合わせは収納管理課 斉藤=092-942-1124）

日時：1月25日（土）13時30分～14時40分

場所：イオンモール福津 2階イオンホール

■ 問い合わせ先

古賀市役所経営企画課 波多江、吉田=092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

中村哲医師に古賀市名誉市民の称号の授与を検討

学生時代を当時の古賀町で過ごされ、ペシャワール会現地代表/PMS（ピース・ジャパン・メディカルサービス）総院長として活躍された中村哲医師への古賀市名誉市民の称号の授与について準備を進めています。

■古賀市名誉市民について

古賀市民又は本市に特に関係の深い者で、本市の発展、公共の福祉の増進又は文化の発展向上に貢献し、その功績が顕著で市民が深く尊敬し感謝するに値するものに対し贈られる称号です。

■中村哲医師の主な功績

1984年、ペシャワール会の現地代表に就任し、パキスタン・アフガニスタン地域において医療活動に従事する。1994年、PMS総院長就任。

2000年、医療事業と並行して、干ばつに被災したアフガニスタンで水源確保事業を開始し、井戸事業では2006年までに井戸1600カ所を達成、灌漑事業では2010年にマルワリード用水路を完成させ、さらに近隣の取水施設の改修・新設にも取り組み2019年末までに16,500haの灌漑、65万人の生活を保証した。

■中村哲医師と古賀市との関わりについて

中村哲さんは、小学校1年生から20代の後半まで当時の古賀町で過ごされました。ペシャワール赴任へと導いた登山を好きになったきっかけは、少年時代山々をかけまわり昆虫観察に夢中になった古賀町での体験があったからと語られています。

2006年には、母校である古賀西小学校で用水路づくりの課外授業を行いました。これをきっかけに古賀西小学校では、ペシャワール会への募金活動を毎年続けています。また、古賀市の人権セミナーで講師をされるなど、学生時代を過ごした古賀市（当時の古賀町）において文化・教育の発展向上に大いに貢献されました。

■これまでの古賀市名誉市民

みわ しゅうへい
三輪 修平 氏（昭和50年選定）元町長

のみやま ひでや
許山 秀哉 氏（平成2年選定）元町長

※今後、市議会での同意が得られれば正式に決定します。

【問い合わせ先】

古賀市役所 総務課 総務係

担当：割石・岸原 電話：092-942-1112

外付日よけ「スタイルシェード」千鳥学童保育所への贈呈式

株式会社 LIXIL は、気候変動の影響への「適応策」の一環として、千鳥学童保育所へ「スタイルシェード」を寄付し、その贈呈式を行います。シェードの活用で、子どもたちの室内環境の向上と、近年の気温上昇等に対する「適応策」の啓発も行います。

■実施日時・場所

日時：1月29日（水）14時～

場所：千鳥学童保育所教室（古賀市千鳥4丁目1-1）

内容：贈呈式及び「窓から ECO シェア」プロジェクトの概要説明

出席者：株式会社 LIXIL 福岡支店長 増本 雄一様

千鳥学童保育所施設長 伊豆 諒二

古賀市立千鳥小学校校長 神崎 美春

古賀市青少年育成課課長 桐原 誠

古賀市環境課課長 智原 英樹

■実施内容

株式会社 LIXIL では、LIXIL から購入された断熱窓等の「CO2 削減量」に応じて、九州エリアの公共施設などに外付日よけ「スタイルシェード」を贈呈する「窓から ECO シェア」プロジェクトを行っています。

今回その取り組みの一環として、古賀市の千鳥小学校にある学童保育所に「スタイルシェード」を贈呈する贈呈式を開催します。このシェードの活用により学童保育所の環境の向上につながるとともに、近年の気温上昇等の気候変動の影響への「適応策」にも寄与します。また、児童が普段行き来する箇所スタイルシェードが設置されることから、児童の地球温暖化への関心を高めるとともに、「適応策」の手法を周知できることも期待されます。

【問い合わせ先】

古賀市役所 環境課 環境整備係

担当：永延 電話：092-942-1127

赤星孝・信子展 by アートサポート講座

夫婦で、師弟で、ライバル。古賀市を代表する画家である赤星孝氏と信子氏はお互いに影響を与え合いながら、絵に向き合っていました。今回は福岡県立美術館「赤星孝と赤星信子展」にコラボして、古賀市が所有している赤星夫妻の作品に、絵の展示方法を学んでいる市民の紹介キャプションを添えて展示会を開催します。

■「赤星孝・信子展 by アートサポート講座」

期間：2月11日（火）～3月1日（日）10時～18時（2月17日・25日休館）

場所：リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー ※入場無料

■アピールポイント

- ・古賀市を代表する画家である赤星孝氏、信子氏の展示会を開催することで、作品の素晴らしさを広く知ってもらいきっかけにするとともに、展示会を市民とともに造ることで、市民目線を取り入れた「身近な」展示会とする。
- ・美術品の展示を学ぶ人材育成事業「アートサポート講座」の受講生に展示作品を選んでもらい、お気に入りの作品に紹介キャプションを添えてもらう。
- ・福岡県立美術館で開催される「赤星孝と赤星信子展」（2月1日（土）～3月8日（日））と同時期に開催することで、双方の相乗効果を図るとともに、市内外の多くの方に作品を見てもらう。

■実施内容

- ・赤星孝氏、信子氏の作品約35点を展示
- ・「アートサポート講座」の受講生による作品の紹介キャプションを掲示

【赤星孝氏（1912年～1983年）略歴】

粕屋郡青柳村（現 古賀市青柳）に生まれる。第2回独立展において初出展で初入選を果たす。上京し帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）に入学。戦後の福岡県美術協会再建に参加。1961年以降は二度渡欧し、自らの絵を追求していく。後に古賀にアトリエを構える。晩年には福岡市文化賞を受賞。

【赤星信子氏（1914年～2014年）略歴】

第6回独立展において初入選を果たす。上京し、女子美術専門学校洋画師範科（現・女子美術大学）入学。1945年に孝と結婚した後も筆を執りながら、福岡県美術展審査委員等も務める。1990年に福岡市文化賞受賞。2015年に福岡県地域文化功労者表彰を受ける。

【問い合わせ先】

古賀市教育委員会 文化課 文化振興係

担当：新本 電話：092-940-2683

赤星 孝・信子展

アート
サポート
講座

赤星 信子「ざくろ」



赤星 孝「イビサ」

第2回古賀市コレクション展
入場無料

開催期間

令和 2年2月11日から3月1日まで

10時～18時（2月17日、25日、は休館日）

開催場所 リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー

古賀市を代表する作家である赤星孝、信子ご夫妻の作品展です。

開催にあたっては、今年度実施したアートサポート講座で美術品の展示方法などを学ばれた市民の皆さんが、作品を選び、キャプションを添えています。この機会にぜひ素晴らしい作品の数々をご覧ください。

なお、福岡県立美術館においても「赤星孝と赤星信子展」(2/1～3/8)が開催されます。あわせてご覧ください。

主催 古賀市教育委員会

【問い合わせ】古賀市文化課文化振興係(TEL 092-940-2683)
〒811-3103 古賀市中央2-13-1 リーパスプラザこが

人権の花運動「ひまわりの種」が英彦山へ

人権教育の一環として取り組む「人権の花運動」で飛ばしたひまわりの種が、英彦山で登山者に発見され、お手紙が届きました。

■ひまわりの種が発見されるまで

- 令和元年 12月3日（火） ひまわりの種飛ばし式
令和2年 1月4日（土） 英彦山で北九州市門司区在住の登山者（男性）が発見
1月9日（木） お礼の手紙と鉛筆が届く（別添）
1月14日（火） 当該児童の手紙と写真を送付（別添）



■目的

市内8小学校では、人権教育の一環として、ひまわりを栽培することにより、情操を豊かにし、いのちの大切さや相手への思いやりの心を育み、人権に対する理解を深めることを目的に、輪番で「人権の花運動」に取り組んでいます。

■実施内容

青柳小では、2016年、2018年、2019年と継続して取り組み、児童の人権意識の高揚に努めています。

特に、2016年に飛ばしたひまわりの種が東峰村に飛んだことから、当該学年はキャラバンで東峰村へ歩き、東峰学園児童と交流するなど、取り組みを単発で終わらせず、継続的な人権教育の取り組みとしました。

このような中、今年の3年生が飛ばしたひまわりの種を、英彦山登山中の北九州市門司区在住の登山者（男性）に見つけていただきました。登山者は、年明け早々の出来事に「温かな気持ちになった」と、ひまわりの種を飛ばした児童宛の手紙と3年生全員用に鉛筆を送っていただきました。

学校では、早速児童に知らせるとともに、当該児童の手紙と学年児童の写真をお送りしたところです。

ひまわりの種は、自宅の庭に蒔かれたとのこと、夏に向け、新たなつながり（やりとり）を考えたいと思っています。

【問い合わせ先】

古賀市立青柳小学校 担当：教頭 緒方 勝彦
電話：092-942-2331

「糟屋・宗像地区合同公売会」を開催します

イオンモール福津にて古賀市、宗像市、福津市、県税事務所が合同で公売会を開催します。市税等の滞納により差し押さえた物品を、入札形式で売却します。出品数は約130点を予定。売却代金は滞納税に充当します。

■糟屋・宗像地区合同公売会

日時：1月25日（土）

開 場 13時30分～

入 札 14時10分～14時25分

せり売り 14時25分～14時40分

会場：イオンモール福津 2階イオンホール（福津市日蔭野6丁目16番地の1）

■参加方法

購入代金、本人確認ができるもの（運転免許証など）、印鑑（法人の場合は代表印）、委任状（代理人の場合）、同意書（未成年の場合）を持って参加してください。

■出品物

テレビ、ブルーレイレコーダー、NINTENDO SWITCH、PS4、体重体組成計、アクセサリー、腕時計、食器、タオル、釣竿などを予定

■主催

古賀市、宗像市、福津市、県税事務所

昨年の会場の様子



【問い合わせ先】

古賀市役所 収納管理課 収納管理係

担当：齊藤・中村 電話：092-942-1124